

## 第183回(6月)定例会一般質問通告書

順番	6	氏名	金城 善英	質問方式	一括	一問一答(事項別・要旨別)	質問の要旨	答弁者
1	道路行政について	(1)	最近の道路交通法の改正で、平成26年(2014年)9月1日施行された「環状交差点における車両等の交通方法の特例に関する規定の整備」で、信号機のないラウンドアバウト(環状交差点)の交通方法が定められました。ラウンドアバウト(環状交差点)とは、車両の通行する部分が環状の交差点であって、道路標識により車両がその部分を右回り(時計回り)に通行することができます。この環状交差点においては、交差点における待ち時間の減少、交通事故の減少等が期待されます。最大の特徴は、減速することによる安全性の向上、信号機がないので工事費、電気代など維持経費が不要、景観にも優れ、災害時や停電時でも影響なく、複雑な形状の交差点でもスマートに通行できるなどなど、多くのメリットがあります。そこで、 ア 市内交差点へのラウンドアバウト(環状交差点)の導入について イ 現在、進捗中の道路改良事業の中での交差点改良工事や、新たな交差点改良工事で積極的に取り入れていくべきと考えます。具体的には、市道大北大西線と宇座線の交差点、市道大北大西線と大北4号線の交差点、市道山田原線と宇座線の交差点、県道では、屋我地地域の県道110号線と125号線で国立療養所愛樂園近くと済井出と饒平名の境の2カ所の交差点、ワルミ大橋につながる屋我地中央線と県道110号線の交差点、そして名護十字路について	柳原線と外廓線の交差点から柳原線と九年又線の交差点の区間への道路照明設置について	(2)	自然災害はいつやってくるかわからない。大雨、洪水、家屋浸水、台風、土砂災害、地震、津波など、災害に強いまちづくり、人づくりのために、被害を未然に防ぐ、被害を最小化するためには日ごろの備えが重要になります。そこで、 ア 屋部川、東屋部川、我部祖河川(上流含む)、深田川、喜知留川(一部決壊している)のしゅんせつについて イ 深田川と喜知留川との合流する「渡名喜橋」の改築計画について		
2	防災行政について	(1)						

質問の事項	質問の要旨	答弁者
3 教育・福祉行政について	(1) 平成27年4月に施行された「生活困窮者自立支援法」に基づいて実施されている相談、支援事業が1年を経過しましたが、その取り組みと、平成28年度からスタートした子どものがん対策プロジェクトチームの取り組み、食品ロスの削減やまだ口にできる安全な食料を企業や個人の方から寄附していただき、生活困窮者や施設に無償で提供する活動でフードバンクがあります。そこで、 ア 生活困窮者自立支援事業の取り組みについて イ こどもの貧困対策プロジェクトチームの取り組みについて ウ フードバンクの推進について	
4 出産・子育て支援について	(1) 妊娠から出産、産後まで子育て支援を切れ目なくワンストップ（1カ所）で総合的な相談支援を行うための「子育て世代包括支援センター」（日本版ネウボラ）の設置について  (2) 産後ケア体制の構築について	
5 スポーツ振興について	(1) パソコンや携帯電話、スマートフォンからインターネットを通じて公共施設の空き状況の照会や予約ができるサービスで、市内外どこからでも情報が得られ、逆に情報を発信することができる公共施設予約システムの導入について  (2) 名護市営球場建設事業の進捗状況について  (3) スポーツ施設のネーミングライツ採用について  (4) スポーツ合宿等支援助成事業の取り組みについて	
6 6次産業化推進について	(1) 去った4月27日に第2期オープンした「なごアグリパーク」の期待される事業効果で、農家の6次産業化推進と農家所得向上、就農人口の増加が挙げられているが、進捗状況と今後の見通しについて	